

令和元年度

8月19日 / 【上毛】

園子甲利 利商



初優勝を決め大河原監督を胸上げして喜ぶ利根商業高校野球部OB会＝上毛新聞敷島

県高校野球OB大会兼マスターズ甲子園2019県予選(県高校野球OB連盟主催、上毛新聞社など共催)は18日、前橋市の上毛新聞敷島球場で決勝を行い、利根商業高校野球部OB会が高崎商業硬式野球部OB会に6-4で逆転勝ちし、初優勝した。利根商OB会は11月9日、兵庫・甲子園球場で大阪府代表と対戦する。

県高校野球OB大会

▽決勝

高崎商業硬式野球部OB会

000000300014

000100500x6

利根商業高校野球部OB会

【高】大島、角田、鈴木、山口、関、藤沢【利】見城、村

山、高橋、吉原、金子、星

三塁打 横坂(利)▽二塁打

吉沢(高) 星野巨(利)

先輩が先に

北毛の悲願

先輩たちが一足早く北毛の悲願達成だ。利根商OB会は九回表、最後の打者を中飛に打ち取り、中堅宮田

る1年生だった。「ようやく因縁の高商に勝てた」と顔をほころばせた。七回一死満塁で勝ち越しとなる走者一掃の三塁打を放った横坂貴大も感無量。2年生の夏、同じような好機を生かせなかった。「泣き崩れる先輩への申し訳なさをずっと覚えていた」。勝負は勢いが肝心と初球を強振し、右翼を深々と破った。

準決勝と決勝は硬球を使うため、母校のグラウンドを借りて練習した。久々に訪れた佐藤主将はグラウンドが拡張され、環境が良くなったと感じた。「OB会はみんなが行きたかった甲子園に届いた。現チームや地域の応援にもプラスに働いてほしい」と真の悲願達成へエールを送った。

六回裏一死満塁から守備妨害で無得点となったが、重苦しさはなかった。大河原勝彦監督は「準決勝で逆転勝ちを経験していたのが大きかった」という。31年前の夏の群馬大会決勝、高崎商戦はスタンドで応援す

(田中暁)